

研修名	令和4年度災害・事故時のこころのケア対策事業専門研修
講師	東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授 西 大輔 氏
開催日時	令和4年12月6日（火）14：00～15：30
開催方法	Webex Meetings を用いたオンライン研修
参加者数	41名（内訳：北九州市役所職員、医療機関・相談機関等の職員など）
研修の内容等	<p>災害・事故時やその後の支援活動に必要となるこころのケアについて、相談業務等に従事している関係職員の理解を深めるとともに、相談支援技能を高めることを目的とし、開催した。</p> <p>今年度は「トラウマインフォームドケア」をテーマとし、トラウマ体験の概要やACEs（子ども期の逆境体験）による影響、トラウマインフォームドケアの原則に沿った対応等について学んだ。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"><li>・トラウマインフォームドケアについて、初めて学ぶことができました。今後の支援では、対象者の反応を疾病や障害による症状とのみ捉えるのではなく、トラウマ体験があるかもしれないということを念頭に置いてケアをしていきたいと思えます。</li><li>・災害時・事故時以外の日常の出来事からもトラウマ体験、PTSDが現れることはあるので、今後の業務に活かしたいと思えます。</li><li>・とても分かりやすい講義をありがとうございました。</li><li>・「トラウマ」という言葉を何となく使いがちで、自分はいまいに捉えていたことに気付きました。心の傷、トラウマについて知り、影響の可能性を頭に置きながら支援者が多数でつながれば、少しずつでも優しい社会になるのではないかと感じました。</li></ul>